

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課 **教育委員会事務局生涯学習課**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小杉放菴記念日光美術館		
	所在地	日光市山内2388番地3		
指定管理者	名称	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館		
	代表者名	理事長 齋藤 孝雄		
	住所	日光市山内2388番地3		
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5 年間
選定方法	非公募	評価実施年	5 年間のうち	2 年目
施設設置目的	日光市ゆかりの画家小杉放菴を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の振興発展に寄与する。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・小杉放菴の作品をはじめとする美術品等の展示、収集、保管、貸出、調査研究に関する業務 ・教育普及に関する業務 ・美術館の利用許可に関する業務 ・美術品等の保管に関する業務 ・美術館の利用料金等の徴収に関する業務 			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 入館者数	人	10,550	11,800	9,717	3,812						
b アンケートの実施(満足度)	%	81.0	84.3	82.0	86.7						
c 入館料	円	3,355,000	3,062,260	3,202,000	1,539,790						
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入計 A	65,537,552	58,854,298	0	0	0
指定管理料	56,798,000	53,914,072			
利用料収入 C	3,062,260	1,539,790			
自主事業収入	603,050	240,030			
その他	5,074,242	3,160,406			
支出計 B	64,059,660	53,081,487	0	0	0
指定事業費	62,842,060	52,864,987			
内人件費 D	22,174,970	20,825,343			
内外部委託費 E					
自主事業費	1,217,600	216,500			
事業収支 A-B	1,477,892	5,772,811	0	0	0
人件費率 D/B	34.62%	39.23%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	0.00%	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた。

5. 管理運営状況

評価項目	評価基準	指定管理者 評価	所管課評価
① サービスの履行の確認	法令に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	B	B
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者提供するサービスの質の水準を評価する。	B	B
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	B	C
指定管理者所見 (成果、課題等)	<p>【成果】</p> <p>1. 企画展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春休みから5月の大型連休にかけての企画として、当館のコレクションの一つの柱となる1990年代から2000年代に制作された絵画に焦点を当て、画家たちは何故この作品を描いたのか、その制作のひみつを画家のこぼれをさがりに探る展覧会「描く」を超える ―現代絵画 制作のひみつ―の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症対策として全期間休館となったことから、担当学芸員による解説をYouTubeで配信した。 ・秋の観光シーズンの企画として、日動財団の岸田劉生コレクション、うらわ美術館・小杉放菴記念日光美術館がそれぞれ所蔵する木村荘八コレクションから、素描やブックワークの作品を中核に、その交友の軌跡を辿る「素描礼讃 岸田劉生と木村荘八」を開催し、1,409人の入館を得た。 <p>2. 教育普及事業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の振興に関する事業として、ギャラリートーク等を9回開催した。78人参加 ・学校児童生徒等を対象とした鑑賞教室等について、展覧会内容にあわせ、児童生徒の興味関心を高める鑑賞教室となるよう、進め方を工夫しながら開催した。市内2校、市外2校100人参加 ・市内の小中学校を対象とした移動美術展2校102人参加、出前授業等については未実施となった。 <p>3. 舞台芸術鑑賞事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術だけでなく、さまざまな芸術文化の催しに触れる機会を提供するため、クラシックなどの音楽ステージや演劇など舞台芸術鑑賞事業の定期的な開催を予定したが、コンサート1回の開催にとどまった。 <p>4. 地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日光鉢石宿のおひなさま」への参加をはじめ、地域内の老舗ホテル見学を取り入れた事業の実施及び近隣施設への事業協力を実施するなど、地域との連携を図った。 <p>5. 利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館展覧会情報や、付近の交通情報などをタイムリーにSNS上で発信した。 <p>6. 経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調や室内灯の電源の入り切りをスペース毎に管理するなど、節電等に努め経費削減を図った。 <p>7. 安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策として、入館者の把握、パーティション、足元シール、消毒薬の設置や職員のマスク、フェイスシールド着用のほか施設内をこまめに除菌するなど迅速に対応したほか、展覧会での入場制限及び、コンサートにおいて、客席を半数とし、2部制で開催するなど、感染症感染・拡大防止の徹底に努めた。 <p>【課題等】</p> <p>1. 美術に関する教育普及事業における児童生徒の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が興味関心のある美術鑑賞教室が提供できるよう、各学校へ個別にPRを積極的に行なうほか、ワークショップの内容の充実を図り教育普及に努める。 <p>2. 舞台芸術鑑賞事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを踏まえ、様々な分野のテーマをバランス良く取り上げ、安全対策を図りながら、引き続き、質の高い舞台芸術鑑賞の機会を企画するとともに、地域で活動するアーティストを積極的に活用する。 <p>3. とちぎテレビにおいてCM放送を開始し、利用客の増加につなげる。</p>		
施設所管課所見 (成果・課題等)	<p>新型コロナウイルスの影響と空調・エレベーター工事で98日間休館となったが、展覧会「描く」を超える ―現代絵画 制作のひみつ―の開催が全期間休館となったことから、担当学芸員による解説をYouTubeで配信する取り組みや、また、とちぎTVでのCM放送を行うなど、営業努力が見られた。今後は、コロナ対策を徹底した上で入館者の増加を期待したい。</p>		
前年総合評価	B(良好)	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A (優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B (良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C (要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
総合評価	A (優良) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = A、C以外
	C (要改善) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。